

消防団の安全管理に関する教育訓練について

1 消防学校等における安全管理の教育訓練

(1) 消防学校における教育訓練

消防団員の教育訓練については、「消防学校の教育訓練の基準」（平成十五年 消防庁告示第三号）及び「「消防学校の教育訓練の基準」の教育指標について」（平成一五年 消防庁消防課長通知）によりそれぞれ教科目（安全管理含む。）が定められている。

- | | | |
|---------------|---|---------------------------|
| ○消防団員に対する基礎教育 | } | 科目及び時間数については、
別紙（※1）参照 |
| ○消防団員に対する専科教育 | | |
| ○消防団員に対する幹部教育 | | |

(2) 消防大学の教育訓練

消防団の上級幹部（団長）に対する教育訓練として、「消防団長科」が設けられている。
※消防大学校は、国及び都道府県の消防事務に従事する職員又は市町村の消防職団員に対し、幹部として必要な高度な教育訓練を行うとともに、都道府県等の消防学校又は消防訓練機関に対し、教育訓練に関する必要な技術的援助を行っている。

平成 22 年度（計画）

教科目	実施回数	定員	期間	教育目的
消防団長科	年 2 回	7 2 人	2 週間	消防団の上級幹部に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に習得させる。

※科目及び時間数については、別紙（※2）参照

2 日本消防協会の活動

日本消防協会は、消防団員の福利厚生等の事業を行うことをその主な目的として設立され、全国の消防団員の活動支援を行っている公益法人である。

(1) 消防団に対する各種研修

- 「消防団幹部特別研修」
- 「消防団幹部国民保護法制研修」
- 「消防団幹部候補中央特別研修」
- 「消防団員指導員研修」

(2) 消防団に対する資料等

- 消防団員向けの実践的な消防活動マニュアルビデオと解説書の作成配布
⇒各種火災活動、災害活動、救助・救護活動、防火指導、安全管理などを分かりやすく説明した視聴覚教材を作成、配布
- 「消防幹部実務必携」（※3）「未来を拓く女性消防団員ハンドブック」（※4）等、研修テキストの作成・配布

3 消防団員等公務災害補償等共済基金の活動

消防団員等公務災害補償等共済基金（以下「消防基金」という。）は、市町村の消防団員等公務災害補償及び消防団員退職報償金の支給の的確な実施に資するため、消防団員等公務災害補償責任共済事業及び消防団員退職報償金支給責任共済事業を行い、併せて消防団員等福祉事業等を行うことにより、消防団員等の消防活動、水防活動その他の防災活動に係る環境を整備することに寄与することを目的としている。

(1) 公務災害防止対策調査研究事業

①ヒヤリ・ハット事例集検討会

⇒平成21年度に各消防団から寄せられた事故、ヒヤリ・ハット事例を分類、整理し、作成する事例集の内容を検討

②補償事故事例調査研究

⇒死亡、重度障害等の背後要因を追究するため、現地調査を行う。

(2) 公務災害防止対策普及推進事業

①消防団員公務災害防止研修事業

○消防団員安全管理セミナー

消防団員の安全管理と健康管理の重要性及び公務災害補償制度の理解を促進し、消防団全体への啓発普及を図る。

○S-KYT（消防団危険予知訓練）研修

消防団員が消防団活動時における危険を予知し、危険に対して適切に対応できる能力を養うためのS-KYT手法を習得する研修を行う。

○S-KYT指導員養成事業

S-KYT研修の充実を図るため、消防職団員OB等を指導員として養成する。

○消防団員健康セミナー

消防団員に対して消防団活動時に発生する脳血管疾患、虚血性心疾患等の防止を図るための健康管理の知識を習得する研修を行う。

②情報提供事業

公務災害防止事業を推進するための資料の作成（「消防団事故対策の手引」（※5）、「消防団幹部必携 消防団員の公務災害防止のために」（※6）等）及びホームページによる公務災害事例の情報提供を行う。

※1 消防学校における教育訓練

別表第4

消防団員に対する基礎教育

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数	
講話		職責と心構え	1	
訓練礼式	各個訓練	停止間の動作	2	
		行進間の動作		
	通常点検 敬礼動作	通常点検実施要領 各個の敬礼 部隊の敬礼		
	小隊訓練	隊形編成と整頓 行進		
組織制度	消防団の概要	消防団の沿革と組織 消防団員の任免と階級	2	
	消防団の活動	消防団業務の内容 出動区域 消防団と消防署との関係		
ポンプ操法	放水訓練	水利部署と吸水要領 ホース延長、結合、放水及び収納要領	4	
	消防ポンプ操法の概要	消防ポンプ自動車操法 小型ポンプ操法		
火災防ぎよ	概要	火災の意義	3	
		燃焼条件と消火理論		
		火災防ぎよ戦術の原則		
		警戒区域等設定要領		
防災	災害対策	災害対策基本法と消防団の役割 地域防災計画に占める消防団の役割	2	
	現場活動要領	地域特性に応じた危険要素 地域特性に応じた災害防ぎよ活動の原則		
救急救助	救急法	心肺蘇生法 搬送法	5	
	救助法	ロープ基本結索 救助資機材取扱要領		
緊急自動車運行管理	道路交通法	総則 運転者の義務と安全運転 緊急自動車の交通方法	2	
		道路運送車両法		点検及び整備
安全管理	危険予知訓練	消防団活動に伴う危険要因 消防団活動に係る事故予防対策 災害現場等における事故発生時の措置	2	
行事その他		入校式、修了式等	1	

別表第5

消防団員に対する専科教育

1 警防科

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数
講話		職責と心構え	1
火災防ぎよ	通論	火災性状と消火理論	4
	火災防ぎよ行動	水利選定、注水部署及び注水技術	
	火災想定訓練	建物火災消火訓練	
防災	災害対策	災害対策基本法と消防団の役割 地域防災計画に占める消防団の役割	2
	現場活動要領	大規模地震 風水害	
安全管理	危険予知訓練	消防団活動に伴う危険要因 消防団活動に係る事故予防対策 災害現場等における事故発生時の措置	2
事例研究	実務研究課題討議	警防戦術事例 安全管理事例	2
行事その他		入校式、修了式等	1

2 機関科

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数
講話		職責と心構え	1
道路交通関係法令	道路交通法	運転者の義務と安全運転	1
	道路運送車両法	日常点検実施要領 保安基準	
緊急走行要領	緊急走行の基本原則	緊急自動車の交通方法 交通事故発生時の措置	2
	走行訓練	基本走行訓練	
ポンプ運用	ポンプの構造と作用	ポンプ本体と真空ポンプ	5
	ポンプ運用訓練	ポンプ圧力と筒先圧力	
		吸水及び送水上の注意事項	
		吸水及び送水要領 中継送水要領	
機関整備	点検整備	ポンプ点検要領 ポンプ使用後の点検整備要領	2
	故障と対策	エンジン本体の故障と主な原因 ポンプの故障と主な原因	
行事その他		入校式、修了式等	1

別表第6

消防団員に対する幹部教育

1 初級幹部科

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数		
講話		初級幹部としての職責と心構え	1		
訓練礼式	訓練礼式指導要領	小隊の編成と整頓	1		
		敬礼			
		通常点検			
現場指揮	現場指揮要領	現場指揮の重要性と効果 火災防ぎょ指揮要領と留意点	3		
	火災想定訓練	建物火災現場指揮訓練			
防災	災害対策	災害対策基本法と消防団の役割 地域防災計画に占める消防団の役割	2		
		現場活動要領		大規模地震 風水害	
	防災指導要領	消火訓練指導要領 避難訓練指導要領 救出・救護訓練指導要領			
安全管理	危険予知訓練	消防団活動に伴う危険要因 消防団活動に係る事故予防対策 災害現場等における事故発生時の措置	2		
		行事その他		入校式、修了式等	1

2 中級幹部科

教科目	分類指標	主眼とすべき教育内容	時間数
講話		中級幹部としての職責と心構え	1
組織制度	消防団の概要	消防団組織の現況	1
		消防団の充実強化及び活性化対策	
現場指揮	現場指揮要領	現場指揮の重要性と効果 火災防ぎょ指揮要領と留意点	3
	火災想定訓練	建物火災現場指揮訓練	
防災	災害対策	災害対策基本法と消防団の役割 地域防災計画に占める消防団の役割	2
		現場活動要領	
	安全管理	危険予知訓練	
事例研究	実務研究課題討議	公務災害補償 公務災害補償制度の概要	2
		消防団の充実強化及び活性化事例 安全管理事例	
行事その他		入校式、修了式等	1

※2 消防大学校における教育訓練（消防団長科）

平成22年度（計画）

教科目	実施回数	定員	期間	教育目的
消防団長科	年2回	72人	2週間	消防団の上級幹部に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に習得させる。

消防団長科授業科目（平成22年度）

科	目	主	眼	点	時間
一般教養					3
	長官講話	長官講話			1
	校長講話	校長講話			1
	講話	国民保護・防災部長講話			1
消防法制					2
	応急対策行政	重点施策とその背景			1
	国民保護行政	国民保護行政における消防団活動			1
消防管理					10
	消防団幹部のあり方	これからの消防団のあり方			2
	消防団運営	方向性と団員の確保			2
	公務災害補償	公務災害補償			1
	消防実務管理	消防実務の問題点とその対策			1
	女性消防団活動	女性消防団活動と女性団員の指導方法			2
	安全管理	危険予知訓練			2
消防運用					6
	指揮訓練	指揮シミュレーション			2
	災害対応事例	災害対応と団員の確保			2
	訓練礼式	点検要領等			2
演習					11
	課題・事例討議	各消防団の現状と課題の討議			6
	課題・事例討議	各消防団の現状と課題			3
	講義演習	相手に理解してもらえる話し方			2
日課					3
	日課	日課			3
研修等					5
	入校式	入校式			2
	卒業式	卒業式			2
	施設研修	消防庁移動時間			1
その他					2
	入寮受付	入寮受付			1
	入寮ガイダンス	入寮ガイダンス			1

※3 『消防団幹部実務必携 平成22年度版』 抜粋

○第1節 安全管理の基本

- 1 安全管理の意義
- 2 安全管理の指向

○第2節 災害現場の特性と危険性

- 1 拡大危険と対象物の不安定性
- 2 行動障害
- 3 異常心理
- 4 疲労

○第3節 安全管理の実践

- 1 物的危険要因の予知・予測
- 2 環境的危険要因に対する配慮
- 3 人的危険要因の排除

- 4 指揮者の責務

- 5 自己管理の徹底

○第4節 災害活動の安全管理

- 1 火災時
- 2 水災時
- 3 安全確保10則

○参考資料1

「消防ヒヤリハットデータベースの概要」

- ① 消防ヒヤリハットデータベースの特徴
- ② 消防ヒヤリハットデータベースの活用

○参考資料2 事故事例

○参考資料3 NBC災害について

※4 『未来を拓く女性消防団員ハンドブック』 抜粋

○第I章 消防団とは

- 第1節 消防の歴史
- 第2節 消防のしくみ
- 第3節 消防団員の身分
- 第4節 消防団の任務
- 第5節 消防団員の処遇
- 第6節 消防団員の権限

○第II章 消防団の活性化

- 第1節 消防団の現状
- 第2節 消防団の機能と役割
- 第3節 消防団の充実強化・活性化対策

○第III章 訓練礼式

- 第1節 消防活動と訓練礼式
- 第2節 各個訓練

○第IV章 消防訓練

- 第1節 訓練の基本
- 第2節 実践的な訓練
- 第3節 小型ポンプ操法

○第V章 消火活動

- 第1節 火災に関する基礎知識
- 第2節 消火に関する基礎知識
- 第3節 火災の現象
- 第4節 初期消火
- 第5節 消火活動

○第VI章 震災

- 第1節 地震のメカニズム
- 第2節 事前対策
- 第3節 初動措置
- 第4節 参集
- 第5節 部隊編成及び現場活動

○第VII章 応急手当

- 第1節 応急手当の重要性
- 第2節 応急手当
- 第3節 搬送法

○第VIII章 住民指導

- 第1節 指導の心得
- 第2節 防災指導のポイント
- 第3節 事故防止

○第IX章 安全管理

- 第1節 安全管理の基本
- 第2節 災害現場の特性と危険性
- 第3節 安全管理の実戦
- 第4節 公務災害事例

○資料編

- 1 女性消防団員活動事例
- 2 活動マニュアル
- 3 ロープ結索法
- 4 軽可搬ポンプ基本操法
- 5 英語広報文例
- 6 消防団総合整備事業の概要について
- 7 ふるさと消防団活性化助成事業について
- 8 新時代に即した消防団のあり方について
- 9 消防団員等に係る自動車等損害見舞金の支給について
- 10 消防団員に対する乙種消防設備士試験及び丙種危険物取扱者試験に係る特例について
- 11 地方公共団体職員による消防団への入団促進について
- 12 消防団活動の充実強化について
- 13 消防団メールマガジンの創刊について
- 14 市町村合併に伴う消防団の取扱いについて
- 15 消防団への女性の入団促進について
- 16 農業協同組合職員の消防団への参加について
- 17 消防団員の活動環境の整備について
- 18 消防団の活性化と女性消防団員の役割

※5 『消防団事故対策の手引』抜粋

**○序章 消防団員の事故は、いつでもどこでも
起こり得る**

- 1 全国の消防団では、こんなに事故が起きている
- 2 消防団の事故はあなたの市町村でも起こり得る
- 3 あなたの市町村では、事故防止の準備は万全か

○第1章 事故発生メカニズムを知る

- 1 ヒューマンファクターとヒューマンエラー
- 2 人間行動の特性とエラーを誘発する要因

○第2章 これが消防団活動に潜むリスクだ

- 1 消防団活動にはリスクがあって当然
- 2 軽傷事故、ヒヤリハットは重傷事故のれ警戒警報だ！
- 3 消防団活動のリスクの評価と低減対策

○第3章 事故の予防策

- 1 教育・訓練を充実強化せよ
- 2 指揮命令系統を徹底せよ
- 3 機械・器具を整備せよ
- 4 健康なカラダをつくれ
- 5 安全の雰囲気をつくれ

○第4章 事故発生後の対応策

〔事故が起きたときの対応策〕

- 1 事故の被害を局限に抑えよ

〔事故が起きてからの対応策①〕

- 2 教訓を次に生かせ

〔事故が起きてからの対応策②〕

- 3 被災団員・遺族に誠意を持ってあたれ

○資料編

- 1 消防団員の安全に配慮した実戦的訓練のやり方
- 2 S-KYT（消防団危険予知訓練）のやり方
- 3 訓練時のヘルス・チェックシートの例
- 4 消防団員健康づくりリーダーセミナーのやり方
- 5 全国調査『消防団の安全装備品等の配備状況等に関する実態』の結果とまとめ

※6 『消防団幹部必携 消防団員の公務災害防止のために』抜粋

○第I章 消防団の活動と役割等

- 1 消防団活動と地域特性
- 2 常備消防との役割分担
- 3 地域の災害特性に応じた装備・資機材の整備と習熟訓練

○第II章 公務災害の発生状況

- 1 公務災害発生件数の推移
- 2 活動別・死亡原因別公務災害発生状況
- 3 活動態様別公務災害発生状況

○第III章 公務災害の発生要因と低減策

- 1 災害現場活動の危険性
- 2 公務災害発生背後要因
- 3 経験の教訓から予防安全へ
- 4 リスク低減策

○第IV章 公務災害の防止

- 1 教育・訓練の充実強化
- 2 指揮命令系統の確立
- 3 安全装備品・資器材の整備等
- 4 健康・体力づくり
- 5 公務災害発生とその対応

○第V章 市町村の安全管理責任

- 1 安全管理責任の所在と責任者
- 2 公務災害防止事業の支援